

2

国見がめざす教育のかたち

第2章では、国見町の教育がめざす未来像と、その根底に流れる価値観を示します。

子どもたちがどのように育ち、どのような学びの文化を町全体として築いていくのか。

私たちが共通して大切にしたい思いを整理し、国見町の教育の方向性を明らかにします。

「学びが実を結び、種をつなぐまちへ」

果樹のまち・国見町。

この土地では、人も木々も、互いに支え合いながら育っています。

国見町は、教育もまた「町全体で育て合う営み」であると考えます。

教育を学校の中のことだけにとどめず、家庭・地域・職場・自然など、町全体の文化として捉え直しました。

その姿を表したものが、国見町ならではの「果樹の循環モデル」です。

「土（理念）」が町の心を支え、

「水（ビジョンを貫く考え方）」が想いをめぐらせ、

「木（国見で取り組む五つの柱）」が人を育て、

「実（成果）」が喜びとなり、

「芽（次世代・学びの仕組み）」が未来を育みます。

学びの成果は終わりではなく、次の始まりです。

子どもも大人も地域も、ともに学び、ともに育ち、実を結び、種をつないでいきます。

その循環こそが、国見町の教育がめざす未来の姿です。

くにみの学び 果樹の循環モデル

— 成果を次の学びへと返す、教育の設計 —

実
(成果)

まちのよろこび。
子どもたちの笑顔や挑戦、学ぶ姿。
地域の人の誇りと感動。

木
(柱・取組)

まちのかたち。
多様な枝葉を広げる実践の幹。
同じ根と水脈でつながっています。

芽
(次世代・学びの仕組み)

まちのつづき。
実の中には、未来への希望の種が宿っています。
その種が芽となり、次の世代の子どもたちへとつながっていきます。

水
(ビジョンを貫く考え方)

まちをめぐる流れ。
理念の想いを町の隅々まで行き渡らせる考え方。

土
(理念)

まちの土台。
人を信じ、文化をつなぎ、
学びを育む見えない力。



土（理念）



小さな町が、子どもとともに未来をつくる。

国見の教育ビジョンの理念として掲げた「**小さな町が、子どもとともに未来をつくる。**」という言葉には、国見町がこれからの教育をどのような思いで進めていくのかという考えが込められています。

国見町は、決して大きな町ではありません。

しかし、国見町には、小さな町だからこそ育つ教育の土台があります。子ども一人ひとりの顔が思い浮かび、日々の変化に気づけること。学校だけでなく、家庭や地域、行政が身近につながり、立場をこえて子どもの成長に関われること。**この「小ささ」こそが、子どもにとっての豊かさにつながる強み**です。

また、「子どもとともに未来をつくる」という言葉には、未来に対する国見町の考え方が表れています。

未来は、大人が子どもに用意するものでも、子どもにすべてを任せるものでもありません。

子どもと大人が同じ町の仲間として、ともに考え、学び合いながら、一緒につくっていくものです。子どもたちが「自分もこの町の一員だ」と実感できることが、学びへの意欲や成長につながっていきます。

国見町の教育は、知識を身につけることにとどまらず、人と人との関わりの中で育つ力を大切にします。**小さな町だからこそできる、あたたかく、顔の見える教育を積み重ねながら、子どもと大人がともに未来を描いていきます。**

水（ビジョンを貫く考え方）



① 笑顔があふれ、学ぶ楽しさを育む

国見町は、学ぶことそのものが「楽しい」と感じられる町をめざします。

学校や家庭、仕事、地域の行事や交流、自然や文化との関わりなど、**あらゆる場面が学びの場**です。そこには、失敗を恐れずに挑戦する楽しさ、仲間と支え合う温かさ、そしてともに歩むことの喜びがあります。

小さな町だからこそ、一人ひとりの笑顔が町全体に広がり、次の意欲を生み出します。

国見町は、笑顔が循環する「楽しく学び合う文化」を育んでいきます。

② 自ら問い、考え、行動し、仲間と力を合わせる姿

これからの時代に大切なのは、自分で考え、行動する力です。国見町では、学校だけでなく地域や家庭においても、一人ひとりが自分の思いを形にできるよう支えていきます。

挑戦や失敗を前向きに受け止め、仲間と協力しながら新しいことに取り組む人が増えることが、町の活力につながります。どの世代においても、学びを通して自らを高め、**誰かの笑顔につながられる町**をめざします。

③ 国見を知り、国見を考え、未来を拓く学び

国見町では、歴史や文化を学ぶ「**国見学**」を大切に育んできました。これは、地域の歩みを知り、ふるさとへの愛着を深める土台として重要な役割を果たしてきた取組です。

今後は、**この学びをさらに発展させ**、国見町を知り、現在の姿や課題を考え、**未来を自ら切り拓く力**へとつなげていきます。

町全体を学びの場と捉え、地域の大人や産業との協働を通じて、子どもたちが地域の課題を自分ごととして捉え、課題解決のために挑戦できる環境を整えます。

こうした一連の経験が、**国見町への誇りと、未来を創る力**を育んでいきます。

国見の教育ビジョン体系図

基本理念

小さな町が、子どもとともに未来をつくる。

ビジョンを 貫く考え方

- ① 学ぶ楽しさ、あふれる笑顔
- ② 自ら問い、考え、行動し、仲間と力を合わせる姿
- ③ 国見を知り、国見を考え、未来を拓く学び

未来へのはじまりを育む
(幼児教育)

1

家庭と手を取りあう子育て支援（保護者との連携）

考える力・思いやる心・強い体（知・徳・体）

あそびから学びへ（幼児教育の基盤づくり）



夢に向かって学ぶ学校
(学校教育)

2



わかる授業で力をのばす（基礎学力・学習指導）

「問い」から始まる探究と創造の学び（非認知能力・探究的な学び・創造性）

すべての子どもを支える安心の学校づくり（不登校・いじめ・多様性）

学ぶよろこびを一生涯
(生涯学習・文化スポーツ)

3

だれもが学びを楽しめる町（生涯学習・社会教育）

文化と芸術で心豊かに (文化活動・芸術体験)

スポーツで健康とつながりを (生涯スポーツ・健康づくり)



地域が先生、まちが教室
(地域連携・教職員支援)

4

みんなで子どもを育てる仕組み（コムスク、地域学校協働本部、部活動地域展開）

教職員のやりがいと成長（働き方改革・研修）

地域の文化を未来へ（国見学・歴史・文化財）



ICTで広がる学びの町

(ICT教育・環境整備)

5

授業・探究で活かす ICT (ICT 活用・個別最適な学び)

町全体で支えるデジタル環境（端末・ネットワーク・教材整備）

教育環境の充実（環境整備）



くみにの 設計図

木 | 国見で取り組む5つの柱・まちのかたち

- #### ④ 地域が先生、まちが教室 (地域連携・教職員支援)

- ## ⑤ ICTで広がる学びの町
- (ICT教育・環境整備)

- ### ③ 学ぶよろこびを一生涯 (生涯学習・文化スポーツ)

- ① 未来へのはじまりを育む
(幼児教育)

- ## ② 夢に向かって学ぶ学校 (学校教育)

水 | ビジョンを貫く考え方・まちをめぐる流れ

- ① 学ぶ楽しさ、あふれる笑顔
- ② 自ら問い、考え、行動し、仲間と力を合わせる姿
- ③ 国見を知り、国見を考え、未来を拓く学び

実 | 成果・まちのよこび
子どもたちの笑顔、学ぶ姿

芽 | 次世代・学びの仕組み・
まちのつづき
次世代に続く持続可能な学びの仕組み

土 | 理念・まちの土台

小さな町が、子どもとともに未来をつくる。